



医動物・種類同定検査結果（令和4年4月～9月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和4年4月から9月の6か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類4件(カメムシ目1件、コウチュウ目1件、ハチ目2件)、その他の節足動物3件(クモ目3件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
マンション3階に住んでいる。家の掃除をしていたら虫を発見した。 (8月)		ハナカメムシ科 (カメムシ目)	微小なカメムシで、体はやや扁平、頭部が前方に突出する。 捕食性で、多くは植物上で生活するが、枯れ枝、わら束、倒木の樹皮下等で生活するものもいる。
マンション洋室の窓側付近とフローリング上に多数の虫が発生している。 (8月)		ムナビロヒメマキムシ (コウチュウ目)	成虫、幼虫ともカビを食する。野外では、樹皮下、枯木、薪、わらなどでみられる。屋内では、製薬工場や食品工場等の倉庫内のパレットやカビの生えた壁などにみられる。畳に発生することもあり、家屋害虫としては本科の中では最も普通にみられる種である。
部屋の網戸に小さな虫が大量に付いていた。 (7月)		ムカシハナバチ科 (ハチ目)	夏から秋に出現し、地中または地上営巣性である。 ムカシハナバチ科は、花粉を蜜とともに、胃中に飲み込んで巣に持ち帰る。他のハナバチ類は、花粉を体表の被毛に付けて運搬する。

成虫、茶褐色、約1.8mm

成虫、赤褐色、約1.3mm

成虫、
黒色・一部黄色、約7mm

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
風呂場や洗面台に虫が多数這いまわっていた。 〈7月〉	 <p>有翅虫(雌)、黒褐色、約8mm</p>	ヤマアリ亜科の有翅虫(雌) (ハチ目)	本科は、温帯地方では大型で活発な種類を含み、地上活動性の種も多い。営巣場所は多くの種では地中である。アリ類は決まった時期、無数の有翅虫(雌雄成虫)が、結婚飛行のため巣から飛び立つ。飛行を終えた雌成虫は、地上に降り、翅を落とす。
小さな虫に左足を刺され、つぶしたが、同じような虫が首筋を這っていた。 〈7月〉	 <p>雄成虫、赤褐色、約2.5mm</p>	アズチグモの雄 (クモ目)	草木や灌木の花上で訪花性の昆虫を待ち伏せる。雌と雄では体長、体色が異なる。雄は体長3mm内外と小型で、赤褐色をしている。
会社敷地内でクモを発見した。 〈8月〉	 <p>背面</p> <p>雌成虫、黒色・背面に赤い斑紋、約10mm</p>  <p>腹面</p> <p>腹面に赤い砂時計型の斑紋</p>  <p>卵囊、黄褐色、約8mm (搬入時潰れていた)</p>	セアカゴケグモの雌成虫及び卵囊 (クモ目)	基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。体色は黒く、背面中央部に赤い縦長の斑紋、腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。卵囊は、白または黄褐色、外側はスムーズで突起などはない。

相談内容・発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
<p>家庭菜園のトマトの葉を寄せ集めた部分にハイイロゴケグモと疑われる虫体及び卵囊が確認された。 (8月)</p>	<div data-bbox="400 277 743 533">  <p>雌成虫:背面</p> </div> <div data-bbox="400 539 743 607"> <p>褐色・背面に斑紋がある、約10mm</p> </div> <div data-bbox="400 613 743 869">  <p>雌成虫:腹面</p> </div> <div data-bbox="400 875 743 909"> <p>赤い砂時計型の斑紋がある</p> </div> <div data-bbox="400 925 743 1180">  <p>雄成虫:背面</p> </div> <div data-bbox="400 1187 743 1442">  <p>雄成虫:腹面</p> </div> <div data-bbox="400 1449 743 1516"> <p>赤い砂時計型の斑紋がある 約3.5mm</p> </div> <div data-bbox="400 1523 743 1778">  <p>乳白色、金平糖状の形、約8mm</p> </div>	<p>ハイイロゴケグモの雌成虫、雄成虫、及び卵囊 (クモ目)</p>	<p>基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。 体は褐色、灰色または黒色で個体差がある。腹部背面の正中線上に斑紋がある。腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。 卵囊は、ハイイロゴケグモ特有の金平糖状の形をしている。 全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。</p>

横浜市内で確認されたゴケグモ属については、以下のウェブページに掲載されています。

(※)【参考】ゴケグモに注意

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kokyo/gaichu/seakagokegumo.html>

(横浜市健康福祉局ウェブページ)

【 微生物検査研究課 医動物担当 】